

日刊建設工業新聞

3月18日(水)

第19865号

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp 広告 電話03-3433-7154 eigyo@decn.co.jp

発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(6433)7151 <https://www.decn.co.jp/> ©日刊建設工業新聞社 2020

土砂付着防止剤で特許

テクニカ 同 トラック荷台に散布

化学薬品メーカーのテクニカ合同(神戸市東灘区、寺尾好太社長)は、付着性の強い土砂がトラックなどの荷台についてしまうことを防ぐ搬出土砂付着防止剤「マッドスベール」の特許を取得した。荷台に散布

しておくと、積載した土砂の荷降ろしの円滑化や、荷降ろし後の付着防止などの効果が見込める。1度の散布で5~5回程度繰り返して利用できるという。ランニングコストに優れており、運搬の頻度が多

い大型の現場向けに提案している。液体状の製品。荷台の大きさや土砂の性状・含水率によって異なるが、10リットル程度を散布する。1回の使用量の目安は0.5~1リットルとなる。

ている。製品の外観は淡黄色液体で、▽10リットルの箱タイプ(1リットル×10本)▽18リットルの缶タイプ▽1立方メートル入りのコンテナタイプを用意している。

粉じんや荷台への鉄さびの発生などは生じないという。中性のため人体や土砂への影響も与えないとしている。荷台のほか、バックホウのバケットやベルトコンベヤーでの剝離効果促進、矢板の流動化処理土固着防止なども期待できると

いう。シート工事や塗装工事などで発生する土砂では、付着性が強いケースがあり、運搬後の荷台の洗浄手間が課題となっていた。同社は、粉体状の「マッドスベール」を先行して販売していたが、付着防止効果の持続性を高めた製品の要望があり、液体状製品を開発した。建設工事や工場から排出される泥状土や高含水の軟弱土、流動化処理土など多様な土砂の搬送時に採用されているという。同社は、今後も改良を重ねていくとしている。

間が課題となっていた。同社は、粉体状の「マッドスベール」を先行して販売していたが、付着防止効果の持続性を高めた製品の要望があり、液体状製品を開発した。建設工事や工場から排出される泥状土や高含水の軟弱土、流動化処理土など多様な土砂の搬送時に採用されているという。同社は、今後も改良を重ねていくとしている。